

購讀料	一	年部	六拾六錢
廣告料	四分	行頁	貳拾五圓
發行所	本大通縣中區內 橫濱市牛島區	拾五圓	
編輯兼發行人	神奈川縣教育會		
印刷人	青倉代仕者 橫濱市住吉		
印刷所	町五ノ五八 橫濱市住吉		
	四五ノ五八		
	橫濱活版金		

と發心はつしんしたのが實に數年前である。そしてそれ以來微力びりよくな

こともある。併し常にはさ
はなり得なかつた。自分が

此の家庭生活は、たゞ
のみに止まるものでな

し我國では、此の信仰

して下さる方が
は、幸甚の至り

矢野トシ

學校より歸りました。今日（二十日）の新聞を開きますと「フランス革命に倣ふ華族子弟の赤色陣營」と題しまして名家の子弟二十名が檢舉されて居りました。私はこれを見て致しました時、あゝ生活に何の不足もない名家の子弟が如何なればかゝる非國民的行爲を敢へてするのや、と慨歎致した次第でございま

て授けられた母性愛によつて初めて完成せられるものと存じます。この眞の愛に基いてこそ兒童は無條件に教師を信頼し、其卒業後と雖も苟しくも彼が惱とする所のものは細大なく其解決を仰ぎ、以て自己の示針となすに至るものと信じます。

今や世は思想上に於て、經濟上に於て、無双の國難に逢

のでございませう。社會教育の欠陥からございませう。學校教育の欠陥からございませう。又家庭教育の欠陥からございませう。よく考へて参りました時に、人の不足も不平もない筈の良なる地と存じます。

家の子弟が此等黨中の人となるまでには相當の惱があつた事でございませう。其惱を打ち明けて、己が進路の指示を與へ指導者がなかつたのでございませうか。家庭には敬愛なる父母が在りますではないか。凡そ教職に在るものは男女共に其職責に甲乙はない筈でございませう。さりながら、私共女教員は家庭に在つては家庭の主婦、學校に在つては學校の主婦でなければなりません。しかれば學校の清潔、經濟、整理、整頓、校舎内外の

しかも、多くの児童中には或は家庭的に缺陷のあるものでございませう。故に此種児童の缺陷を補ひ、圓滿なる人

美化等は或は縁の下^{えんか}の力持的仕事とも考へられる場合もございしますが、此等方面の仕事は主婦たる女教員が雙肩に擔つてこそ、相倚り相扶けるの實を擧げ得るものと確信いたします。

されば私共は、一方に於ては慈母の愛をもつて我が教へ子に好模範を垂れ、他方に於ては主婦の務を移して縁の下の力持的仕事をも進んで行ふやう心掛け、以て此の非常時に於ける女教員としての任務を完全ならしめたいと思ふ。

第七回 横濱戸部小學校 關みさを君
第八回 神師附屬小學校 三浦富美子君

第七回 横濱戸部小學校 關みさを君

破的の試みに

後兜を向直した

縣教育當局の指導態度

人格の接觸に、官僚の鬼面を剥つてかゝる里見課長

首席訓導の座談會、縣と教育會との主催で、十七日午後一時、鎌倉師範學校で施行された、里見課長、齋田視學官、湯淺縣屬、萩田、森屋、亀井各視學、高城、吉田兩主事、本校教諭諸氏と四拾名の訓導諸君一堂に會合し、先づ晝餐を共に腹拵へに及ぶ、午後一時にそのまゝの席を視學官を座長席に据えて開幕した。

人が、未だ曾つて一度も觸れようとしなかつた教育者に對する待望の本心を、極めて卒直に熱意をこめて披瀝して「最も力強く最も肯綮に値する諸君の永年の經驗から、教育萬般に亘りて忌憚なく此に發表されて本座談會を意義あらせて欲しい者である」と結ばれてゐる。

恐らく何時もの默然居士の

聞く處によると今回の催しは課長の意圖からであつて、その挨拶の中にも「立場を異へたお互の生活には、自他の意見に疎通連絡を缺きかちのものであるから、かうした機會に各自の考を談合つてみることは意義の有ることである」と課長自ら進んで衆議に耳を假さんとして居るその態度これこそ正しく本縣教育の黎明を告げたものである。

だんまりで終始するものと心竊に病んでゐた吾々は、この時始めて何物かこの會に期待を持ちえた程頗る朗らかに導かれたのである。

出席諸君は能く談した、流石は首席の役柄だけその言ふ所説く所、經驗に辯口に態度に卒直と儀禮とを兼ね備へ孰れも徹底した者である。

扱て其の叫びの主な者を搔摘んで列舉してみんに、

一、學校の行事が多過ぎ

氣の上に於いて、社會の指導力に於いて、研究の徹底力に於いて、六大都市を以つて誇り、帝都の關門を以つて誇り、大開港場を以つて誇るに相當する大教育精神と教育的機構の何物かが發見し得らるであらうか、

それがため校長も訓導も年が年中忙殺されてゐる、デツと落着いて考へてみたくも寸暇がない、靜思閑想、練らない所に餘な考の出よう筈がない、もつと思案修養の時間を與へて欲しいとの叫びである

課長の一學制頒布後既に半世紀を経た、曾ては高層建築として立派であつたもの、果してそれが現代に適するや否や、特に時局は多事多難であるが、是が打開の方途はに「教育に於ける事」を思ふ時教育者の立場亦難哉」とは此際に於ける吾人教育者への警鐘のやうにききなされる、

「教育制度の改善意見」としては素人必ずしも排すべきではないが、最も傾聴に價值あるは、教育者の意見のそれである」と激勵しては過去の官説も生る譯だ。

まさか役所は學校を仕事の棄場所だと誤解のある譯でもあるまいが、一に青年團、二に少年團、三に訓練所、四に職業指導、五に性能検査、曰く何會何々會、曰く、何デュー何々デュー、まことに雜然たり混然たりや、掃溜のそれの如きが現在の小學校で御座る、これでは人間の教育はをろか蛆虫の培養場である。

校長や訓導が埃塵の裡に埋れて働けば働く程に人間の機械が出来あがり、やがて魂の脱殻も生る譯だ。

二、後援會や保護會の財
布を當ては御役所側
の惡弊で御座る

窓硝子の修繕にも、筆紙の消耗にも、備品の設備にも、白墨の購入にも、やれ學校を建てればとて、それ講堂を建てればとて、その學校の保護會の會費、後援會の寄附金といつた私税の中から當然役所で支出すべき經費の補給をそこに需める。謂はゞ市町村の懷工合の遺練算段である。

校長、訓導が役員の家にお百度詣りをするも「無駄な時間と無益な手數がかかる」と彼等は叫ぶのである。

さうでも笠に著たる、役員、寄附事業を恩に被せ、兎角にとやかくの不良分子、はては會と謂ふ者の威力を極度に發展させて、監督がましく校長事務に迄方角違ひのおせつかに、不満の感情が高ぶると忽ち惡聲を撒き、役所につん出でては肩書に物を言はせての理不盡の盲動振に教育の尊嚴性を傷けるを最も得意とする。

渠等は教員が所謂有志の聲

だとは喝破する。之は公の財的にも微弱なもの、教員の支援支持にも亦無力の致す處で、此に至りて教員を擁護すべき正義の楯の何物もないことになる。

元來、今日の公立學校は地方の特權階級の支配下にあるべきものなのか、

三、鰻上りの出世の外交手段は禁制と致した

「人才並登用」、精神内憂患

の途を開かれん云々」の建議案を、頃日の帝教記念大會に議案として提出した訓導が、たが、渠等は亦「兒童愛に燃え眞率に教育をやつてゐても結局は交際上手がトン／＼拍子の出世を続ける」と叫ぶのである。成程、人材の登用の精神的優遇の建議案を、天下の論壇に堂々とうちつけるのも大いに意味ありと覺らせられた事だ、

が、併し、縣下六千の教員

の悉くの狙ひ處が三百餘の校長の椅子にあるとなれば、是は實に莫迦／＼しい夢だ、煩悶懊惱の棄て場を宗教的教養の叫とみニコ／＼主義の禮讃とも吾等はみる、子供等のためよりは教師自らの鎮靜劑ではなかつたか、あれば外交専門の校長を起さず、無能は蹶とはせ、これなくんば小異を捨て、大同に結束する迄のことに就して

湯本小學校

手工科研指導會狀況

で工細根有
な名
湯本小學校
手工科研究指導會狀況
新任の杉山校長の
五ヶ年計劃

箱根細工、あの湯本かと思なかつた。

はれる程、子々孫々三百年來の箱根名物、湯本細工、それが近年海外輸出年額百五十拾萬の巨額で、本縣の主要産物となつてをを思ふと、其町の小学校教育の第一に觀るべき者としては手工科であらう事は齊しく頷かれる處である。最近（七月）には現杉山校長の資金も調ひ、町會の決議經る迄に進行してをるとか、今一步の處、やがては堂々、校舎も建ち施設を完備し、

が赴任されたのも其處を將來手工湯本の名聲を天下に馳するであらうが、願くは其の實施の速かならんことを希望して止まない。

所謂校長の五箇年計劃案實施して欲しい者である。

湯本町發展繁榮のために、くて敏腕の聞え高い杉山校を援けて町長有志職員の共一大奮勉を祈る。

縣主催手工科指導

三浦郡長井小學校研究會

十一月十日(金)午前九時半
開催、縣から磯崎視學杉山指
導員出張、橋樹郡日吉小學校
其他三浦郡内各小學校より出
席者約四十名。
三浦郡十五小學校中尋常科
に手工を加設せるは僅か二校
其中の一校たる本校は特に此
指導を意義あらしむるため
年度から加設し、周到な用
と研究の準備期を過して、
月より實行に移つた。
新進校長として令名ある戸
島氏を中心に全職員が一致
結して清新の氣の溢る本校
に多大の期待を持つて集つ

參觀者は、かうした本校の熱意と、其の現れである職員製作の參考資料の完備に自づと頭の下るのを覺えた。

授業は尋一から高二まで教材各種別を網羅し、こゝにも研究の熱意が現れて居た。

午後〇時半から磯崎視學主宰の下に批評及指導會に移つた。冒頭長島校長は氏の社會觀、人生觀に立脚せる尋常科手

工加設の意義と價值に就いて語り次に高梨主任の自評を終つて、日吉校長塚、浦賀校石渡、西浦校長島、南浦校鈴木、初聲校相原、大津校岡本、諸訓導と本校高梨主任との質疑應答後、各部會代表者浦賀校石渡、初聲校相原、武山校田川諸訓導の批評があり、指導員の質疑事項及批評、視學の講評等四時間であつた。

半閉會。席上に於ける諸批評を綜合すれば、本校の手工科が實際行動に入つて日の浅いのに拘らず異常な好成绩を挙げ、殊に至難とする兒童の用具使用法迄が經驗校に比して遜色のないのは、教授を有目的作業ならしむる點に意を注ぎ、構成方面の研究が良好で、凡てが計劃的に實行されたからであつた。校長の深い人生觀の

上に建設した手工科の意義が全校職員に透徹し、其の教育愛が此の成果を現したのであらう、猶本日の指導會は時折口を突いて出る杉山指導員の諧謔に加へて、本校作製の手工加設校分布統計に關し、校長指導員視學の三者間に功名の讓合ひの景物等も交つて至極和やかな氣分の流れてゐた。

市	市	市	市
崎川	濱横	郡	郡
特高	特高	別種	別種
尋常	尋常	數校	數校
一	一	校	校
一	一	設	設
一	一	加	加
100.00	100.00	百分比	百分比

愛甲通信

○十月二十七日 中津尋常高等小學校では總谷視學及杉山指導員臨席手工科研究會を開催した。

○十一月十五日 依知尋常高等小學校では愛甲那校長會主催のものとなる高等科第一學年の學級相互視察を受けた、學級の經營授業法等を視察した後横溝厚木校長を議長として研究會を開き大いに意見の交換を行った。

[illegible]

關靖

ることを述べてゐる

する程高き價值を有してゐる
 様に思はれる。
 とまれ既に王道の原理が天
 道に合致してゐる以上之を治
 國の理想とするからには人民
 を治める事天が萬物を生成化
 育するが如くでなくてはなら
 ぬ。即ち民の生命財産を保護
 し其の堵に安んじ其の業を樂
 しませる事宛も雨露の恵によ
 つて草木がすく／＼と生長す
 るが如くあらしめねばならぬ
 殊に張家政權下の苛酷誅求や
 匪賊横行等の爲、長い間塗炭
 の苦しみに喘いでゐた滿洲國
 民衆を治めて行くには政治も
 經濟も産業も教育も總て王道
 の此の精神に基いて施設經營
 して行く事は喫緊の要務であ
 る、斯道也以保民爲主。
 諸國家を崩壞に導き之に乗じ
 て先づプロレタリアートの獨
 裁を實現せんとする共產主義
 國家とも異ならなくてはなら
 ぬのである、現に滿洲國人に
 して王道の積極的方面に多大
 の期待を掛けてゐる者の中に
 は王道に基礎を置いて亞細亞
 に一つの理想的徳治主義國家
 を建設したならば世界の各國
 は漸次之に倣ひ何れも王道政
 治を行ふ様になり、世界の戰
 氣を消散せしめるであらうと
 迄極言してゐる者もあるのだ
 ある、極めて誇大妄想的言の
 様ではあるがその根柢に修己
 安人とか修身治國平天下とか
 言ふ様な着實にして而かも遠
 大な支那古來の道德觀乃至政
 治觀の流れてゐることは注目
 と買する事である。

行けば自ら解消される様であるが、實際問題としては滿洲國は假令三千萬民衆の總意によつて創建されたと稱せられても、我が日本等とは根本的に建國の由來を殊にしてゐる（例へば滿洲國新政權樹立に就いて革命の思想が基調をなしてゐない）と誰が斷言出来る）又文字を解する者さへ國民の少部分に限られた様な一般文化の極めて低い滿洲國の現状である。更に又政權等は自分達にさへ好都合なれば何人に在らうともかまはぬと云つた様な民情でもある。

從つて民の歸趨を正すことは滿洲國に取つては極めて重大な極めて緊要な問題でなければならぬ。

此の問題に對しては一面政治經濟產業等の機構をして王

教育とは如何にあるべきかと云ふに王道の本義に照して道德教育第一でなければならぬことは自ら明瞭である。鄭總理事も親愛禮讓等の徳目を擧げてゐるのである、滿洲國へ参つた時新京で文教部督學官間宮氏の講演があつたがそれに

學校教育に於ては目下の處建國の精神の徹底に力め教科書の如きも黨義教科書は一律に之を廢し、四書孝經を講述し禮儀を尊崇する念を篤からしめ、祀孔祭を盛大に行ふ様にしてゐるとの事であつた、之は王道主義教育の萌芽とも言へよう。

我々はこの萌芽が滿洲國五民族數千年來の文化に仕つか

萩田萬一郎

本年八月滿洲國に出張を命しめつてぜられて彼の地に参つ時各所で滿洲國を知る上に参考に
萩田萬一郎を大體捉へる事が出来るが更に試に書經を繙くと周書洪範

堵に安んじ其の業を樂しましめれば王道を行ふに於て十全であるかと云ふに、然らず、更に積極的に民をして世界の平和人類文化の向上に貢獻させる事宛も草木が雨露の恵に

らば被治者自身は如何なる態度を以て如何なる方向に進めばよいのか。この問題は滿洲國一般民衆にして治者の心を心とし王道の眞義を體認して

勵すると共に、他面國民教育乃至民衆教育の方針を確立させ之が普及徹底を圖る事が最も肝要であり最も有効であると思はれる。然らば王道主義

收藏の「濟生方」の鈔本にも、亦この印記が載せてあるといふことを述べてゐる。自分はまだその「濟生方」の印記も見えてないから、はつきりした事は言へないが、既に同じこの重郭印が、文庫現蔵の圖書に捺されてゐる所から考へて矢張りこの金澤文庫の蔵印であることが分る。加賀侯の蔵印であるのが文庫に現蔵されてゐる筈がないからである。恐らく「濟生方」といふ醫書も、何時か金澤文庫から出たものに相違ない。

この重郭の金澤文庫印は、他の重郭印に比して、頗る型が大きいばかりでなく、其の書體までが全然他と相違してゐる。丁度今の焼印を捺した様な感じがある。或は金屬製の印ではなかつたかと思はれる。そしてこの印記のある圖書が極めて稀である所から考へるとあまりに書體が醜い所から、數多く使用されない内に廢棄されてしまつたものではあるまいか。

四、重郭印の種別

金澤文庫印としては、この重郭印が尤も普通のもので、一般から金澤文庫印として知られて居るの

な事で、寧ろ其書體の相違點から判斷する方が安全だと思ふ。文庫印の書體は何れも眞字楷書で、一種の雅致のある文字であるが、之を一宇づつに離して見ると誠に釣合ひのとれない文字となるが、縦に並べて郭の中に収めて見ると、頗る雅致に富むものである。現に復興した文庫の玄關には、この文字をその儘擴大して、横に並べたものを扁額にして掲げて居るが、見た感じが變である。矢張縦に並べた所に價值があるのである。正體はこの文字を評して

「實時ノ創意ニ出ルモノカ典雅嘉スヘシ、此一印ヲ見テモ、ソノ事ヲ苟モセサル一斑ヲ知ルニ足ル」

と言つてゐる。又或人は之を細長くしたのは宋本の罫の間に収まる様に工夫したものだと言つてゐる。なるほど宋本の中には罫の廣いのがあつて、丁度都合よくこの印記が収まつてゐるものもある、何れにしても、細長くしてあるだけに、文字の上を汚すことなく捺すことの出来るだけは特長である。一體蔵書印を餘りに大きくして、

なる色々に印刷物を貰つたが、其の中に王道主義研究資料第一號と云ふのがある。目次は、
一、王道救世之要義 二、王道惑問 三、撥亂反正 四、釋王道となつてゐる。漢文で書いたパンフレット式のもの、鄭總理の著である。滿洲國の建國の大精神がこの王道に立脚して居り滿洲國の理想がこの王道の實現に在ると聞いてゐた自分は興味と期待を以て之を讀んでみた。

この王道主義研究資料最後の篇「釋王道」は篇の名が示す様に王道を簡明に解釋したもので次の様に述べてゐる。

王道者古之聖王以三斯道ニ政教民。民悅服四方歸往。斯道也以保民爲主。而教民親愛、教民禮讓、躬自履踐教化自成。此人類之所自別、於禽獸一者也。

此の文によつても王道の概念

無偏無岐、遵王之道、無有作惡、遵王之路、無偏無黨、王道蕩々、無黨無偏、王道平々、無反側、側王正直、會其有極、歸其有極、言章句がある古來「王道」の典故として引用せられる詞の様であるが之に依れば王道は好惡の私情等を挟む事なき公平正直な道であり最高の道徳換言すれば天道に合致した道である。更に他の言葉を以てすれば飛躍的純粹體驗によつて出来る小我と大我との合一境から流れ出る自發自展の道だとも云へるであらうし人間究極の理想境たる神人合一の靈地に通ずる道であるとも云へよう、尙書のこの章句は古典に特有な簡素な表現法を用ひてゐる爲、一見頗る單純幼稚な思索の表示である様に見えるが深く考察すれば考察

によつて生長すると共に千紫萬紅の美を顯現して大地を美化するが如くに致さなくてはならぬ、從て彼の建國宣言書に自ら我々新國家境内ニ投資シテ商業ヲ創興シ利源ヲ開拓スルコトヲ願フモノアラバ何國ニ論ナク一律ニ歡迎シテ門戸開放機會均等ノ實際ヲ達セシム
 とあるの唯自國の産業開發を目標とする許りでなく、之に依つて現在の世界的經濟不況の打開に資し以て世界の平和と確保に貢獻することをも冀はなくてはならぬ、從て滿洲國は前記王道救世之要義にも果行王道一必先蕩一滌愛國之思想 而以ニ博愛爲レ主。必先革ニ除軍國之教育一而以ニ禮義一爲レ先。
 とある様に彼のフアツシズムの國や、軍國主義の國とは趣を異にしなければならぬし、世界を赤化せしめて現在の

女子青年

井

の立場

上 常 子

しなければならぬと云ふ事の重要さを愈々切實に感せしめられて居るのであります。

男子青年團は今、更生運動に結びついて郷土を背景とした産業經濟の研究に幾多の成績を擧げて居ります。然しそれは職業的であり外面的であると思ひます。そして女子青年會はこれと手を結んで助力する事は勿論でありますが、むしろ一歩進んで精神の生活へ働きかけて死に瀕しやうとしてゐる郷土の魂を取り戻す事がより大切なことではないでせうか、これを現在在の女子青年會の施設について考へて見ます。

村の生活に取つては生命の泉である鎮守様の境内が餘りますので掃き清められて居りますので「何方がお掃除なさつたのですか」と伺ひ致したら「女子青年會員が當番で致して居ります」と申されました。

峠道を登りつめて「あゝ一休みしたい」と思つた見晴しにどうぞお休み下さい。○○女子青年會」と書いてありました、素朴な丈に涙の滲むやうな感激をうけました。

學校の運動會には總出で食堂まで作つて村の方々の接待を致して居ります。

手藝の展覽會、學藝會、敬老會次々と數へ上げて参りますと女子青年會は、修養を通して郷土の文化の上に又其生活を潤す上に相當役立つてゐると見る事が出来ると思ふのであります(勿論それら全部が女子青年會の施設と云ふ譯ではありませんが)。

そこでそれらの仕事と——女子青年會は其優しき力によつて眞實の郷土生活を内から樂く爲めに役立ちたい、魂で、愛で、眞實で、内面から郷土の生活を、心の生活を取り戻したい、と云ふ念願とを結び付けて考へて見ます時女子青年會が如何に忠實にその使命を果す爲めに努力して居るかを解つて頂けると思ふのであります。

どうぞ女子青年會の爲めに不斷にお力添へ下さいことをお願いひ致す次第でございます。

井上常子

井 上 常 子

どんな些細な事柄の中にでも、男、女、の先天的な、性格的な別は現はれるものと思はれます。電車になど乗った時男の人を読んで居る書物を見ると大抵、職業的な、専門的な、政治とか法律とか経済とか機械とかそう云つたものが多いうやうであります。女の人の場合とはむしろ逆で、宗教とか人生とか文學、其他家庭的な内面的な性質が多いやうであります。これは當然な事で男、女、の生活の上の仕事の上の分擔も、から別れてゐるとする見方は平凡過ぎる程平凡な見方であると思ひます。

そこで今度の國民更生運動と、青年會の立場とありますが、その運動が漠然とした物でなく、あくまで實際的、具體的な物を求めてゐる丈に前の見方即ち根本的な男の、女の、區別の上に其施設、計劃をしなければならぬと云ふ事の重要性を愈々切實に感ぜしめられて居るのであります。

男子青年會は今、更生運動に結びついて郷土を背景とした産業經濟の研究に幾多の成績を擧げて居ります。然しそれは職業的であり外面的であると思ひます。そして女子青年會はこれと手を結んで助力する事は勿論であります。むしろ一步進んで精神の生活、働きかけて死に瀕しやうとしてゐる郷土の魂を取り戻す事がより大切なことではないでせうか、これを現在の女子青年會の施設について考へて見ます。

村の生活に取つては生命の泉である鎮守様の境内が餘りきれいに掃き清められて居りますので「何方がお掃除なさつたのですか」と伺ひましたら「女子青年會員が當番で致して居ります」と申されしました。

峠道を登りつめて「あゝ一休み

涙の滲むやうな感激をうけました。學校の運動會には總出で食堂まで作つて村の方々の接待を致して居ります。

手藝の展賣會、學藝會、敬老會次々と數へ上げて参りますと女子青年會は、修養を通して郷土の文化の上に又其生活を潤す上に相當役立つてゐると見る事が出来ると思ふのであります。(勿論それら全部が女子青年會の施設と云ふ譯ではありませんが)

そこでそれらの仕事と——女子青年會は其優しい力によつて眞實の郷土生活を内から樂く爲めに役立ちたい、魂で、愛で、眞實で、内面から郷土の生活を、心の生活を取り戻したい、——と云ふ念願とを結び付けて考へて見ます。時女子青年會が如何に忠實にその使命を果たす爲めに努力して居るかと解つて果すと思ふのであります。どうぞ女子青年會の爲めに不斷にお力添へ下さいますことをお願い致します。

提言

謂ふ所新日本の教育、個性日本の教育とは、日本精神の根元たる直根靈を教育事象に反映せる教育である。言ひ換へれば生命の躍動せる具體普遍的なる日本主義の教育に他ならぬのである。

具體普遍的なる個性日本の教育の實相は郷土教育によつて代表される。即ち郷土教育は個性日本の教育の具體的内容をなすものであり、國民教育の特殊的體験的内容をなすものと見るべきである。

我が校に於ては、かゝる教育的見地に基づきその實際的研究を進め嚮に郷土教育研究協議會を開催し多數眞摯なる教育實踐家の來會を得て研究協議を重ね得るところ多かつたが、今回は左記要項により、日頃の研究の一端を發表し大方の批正を仰ぐことにした。

教育の理想は宏遠にして到達すべき道は遠い。發表せんとする事象は元より幼稚薄弱たるを免れぬが聊かたりとも斯道に貢獻せんことを念願して敢えて天下に發表せんとするものである。

眞摯なる教育實踐家各位の、御來會御批正を願つて止ま

校外生活指導管見

神奈川縣都筑郡都田小學校

第二章 校外生活指導處見

節 校外生活指導
の輪廓（續）

然るに狹義の教育は、教育者（教員）を所謂法令上の教師のみに限定し過ぎてゐる。教育する者は許すべくもない。

者か、今日の教師のみに進歩してゐるとすれば、社會の進歩は到底考ふべきでもない。之を廣義に考ふれば、山川草木土石星辰、生くる物と死せるものとを問はず、いやしくも存在の意義を爲すものはすべて教育者であるべきである。まして人類に於て、宏義の教育者でないものはないのである。我々一日の長としてののみ教育の意義があるのである。

まして現今の如く、物質的に又精神的にも、急激なる文化の進展分化は、猫の額程の教場教授の教育には包含されなくなつてゐはしまい。かどしく、校外に飛び出して生きた、動く、社會の中に飛び込んで、凡ゆるものを教師とし、凡ゆるものを教材とする生活即教育の妙諦にひたらねばならぬ。在來の教室教授の

被教育者に於ても然りである。從來の如き被教育者のみをもつて、被教育者の全部とする事は出来ない。兒童は被教育者の一部を占むるに過ぎない。次に教材は如何、之を小學校に於て見るに、殆んど

教育と兩々相まつて、體驗を基礎とした「一行」の教育に待たねばならぬ。

斯く、社會の中に教育の出發點を見出す時、教室内のみの教育觀は一掃される。此の間の趣旨は文部大臣の訓令にも「小學校兒童ニ對シ、ソノ

固定的であり、融通性の乏しい「粹の粹」と云つてもよいものではあるまいか、物云はざる教育者は、それ自身包含しきれぬ教材を含んで居り、吾人の周囲を圍繞する總ては教材である。

餘暇ヲ利用シ、社會生活ニ關スル訓練ヲ行ヒ以テ學校教育ハ補足ヲ圖ルベキ施設ニ至リテハ今猶遺憾ナル情態ニ在リ仍デ此ノ方面ニ就キノ改善普及ヲ期スルハ、家庭及學校

斯く廣い意味の教育とは、とりもなほさず「凡ゆるものは教育者であり、又被教育者であり、教材である」と考へるもので、所謂教育を社會的に解放する事である。斯く考へる所に教育の眞の意味が徹するものである。

吾人の周圍を圍繞する總ての物が教育の因素であると考へ來る時、社會は又如何？云ふ迄もなく教育と重大なる關係に立つ。時間空間の二つの進行のクロスポイントに立つ社會は、教育の總ての素地である。

二節 校外生活指導の狙ひ所

前述の如く、學校教育が校外に開放延長されねばならぬ事は、現行の教育に幾多の考へねばならぬ點を投げかけたものである。文部大臣の命令

た無數の多面體より成れる社伴と社會的還境日二月ニ複雜

多様ヲ加ヘツノ間兒童ノ心身
ノ健全ナル發達ヲ妨グルガ如
キ事象尠シトセズ。随ツテ之
ガ爲ニ生ズル不良ナル影響ヲ
防止シ且ツツノ教育教化ニ資
スベキ適切ナル方策ヲ講ズル
ハ現下ニ於ケル緊切ノ要務ト
云フベシ」と云はれてゐるのは
、校外生活指導の一觀點で
あると云はねばならぬ。

1、農村の現状と校外生活指導

常に多いので、之等家庭に於

なれ様か。こゝに校外生活指導の一觀點を置き度い。

3、家庭生活の純化

文部省訓令の狙ひ所は、主として此處にあると見られる

即ち兒童は學校に於てはよく實行するが、家庭に歸ると直ちに忘れられ、折角の教育が徹底せぬばかりか、却つて校外の惡風に壓倒される慮が非

導　　古くから「農は國の本」と云ふ語が有る如く、生産は社會生活の本である。中でも農業は生産業に於ける生命線と云つても過言ではない。然るに農村の現状は、産業の不統衡強弱で、何等の効果を擧げける惡風を一掃し、遊戲を純化する事は、刻下の急務であらふ。從來此の方面の指導は主として養護の方面に於て、校外監督の名をもつて、一部分に行はれてゐたが、極めて

制、生産過多、中間商人の跋扈を得てゐなかつたのである。こ
等々の爲に、他繩自縄の苦境に呻吟するを餘儀なくされてゐる。朝は暗い中に起き出で夕は星を載いて、尙營々として休む事を許さざる農民の、
汗と脂の結晶は勞働力の無視生産物の廉賣強買なのであるこれには種々の原因があるが教ふるべきではなくして、如何なる角も所かる見込である農民生活の不健康（奉仕心の養成）

從來の學校教育の狙ひ所はどうして生活を営むべきかを教ふるのではなくして、如何

村は經濟的にも、又時間的にも、その子女の教育に就いては殆んど顧る餘地を持たない。響心を諄々として教へ込み、斯かる教育に育ぐられた農月給や地位や權力を得る事が民は代々が「百姓に學問は入らぬ」と云ふ傳統に立てこもつてゐる。一日も長く學校をより奉仕と云ふ事を教へる所

休ませ、一年も早く學校をさがらせて、家の手傳をさせる事のみが、彼等の切なる要求であるのだ。斯かる多忙なる農村に、家庭に於ける躰などは殆んど考ふべくもない。殊に養護の方面等、不手廻りが

がなかつたならば、非常に危険性をかゝるす、所謂他人を押しつけても、自分の頭を出すこと云ふ事になるからである。斯かる利己的訓育の結果は、勢ひ社會に徒黨政黨宗派等々社

勢ひ放擲云ふ極端まで進んで行くのである。此の點託兒所等の必要と相まつて、校外生活指導の緊要な點である。

2、實生活への理解接近
兒童は社會人の一人であり幾多の社會的事物現象と接し

會各階級がいつれも各自の優越感を満そうとして、いつれも無遠慮な抗争を惹起して、終には國家の、小にしては一村一部落の利害と統一とを害ふ事をも敢てなす様になるのである。校外生活指導は此の

重大なる生活の學習、社會の指導を如何に純化して行くべきか。これを現行の教育に見る。成少年團の狙ひ所等とも一脈とは從來如何ばかりの接近するものがあるのだから、自己活動と校外生活指導をもつて來たか。將來社會人

となる兒童が實生活を無視した教育で健全なる社會人となるの陷る弊として、中等兒或は從來學校教育は、一齊教授

高等兒の教育であつて、殆んど劣等兒に手をそめる餘裕がなかつた。之等の劣等兒も又殆んど頭を上げる機會もなく勇氣も出し得なかつた。然し校外生活指導に於ては、裕に勇氣も機會も沸然として湧き起るのである。此の點など相當大きい狙ひ所ではあるまいか。

2、兒童

近時教育の郷土化が濫々として主張されて來た。これは徒に教育の理想論を追つて寧日なき過去の教育への一清算であつて、自覺された、現實を直視した教育主張であつて、活指導の中核より見る時、全

日本主義教育への第一歩である郷土教育は郷土を土臺とし、教育の郷土進出である所に、校外生活指導の狙ひ所が存する。

三節 校外生活指導の目的

目的は以上の所説に依り、自ら判然として来るのであるが、次に其の主なる項目を擧

兒童を對象とすべきである。然しながら程度の異なる兒童に同一歩調を強ひる事は、教育上考ふべき事である。故に兒童を二つに分けて、正會員と參加會員（副會員）とし、正會員は四年（或は五年）以上とし、積極的活動の中心とな

り、副會員は三年（或は四年）以下とし、單に参加して實行

1、敬神崇祖
 2、社會奉仕
 3、共同互助
 4、規律節制
 5、勤勞愛好

四節 校外生活指導

づて見るならば次の如くである。

するものとするのである。従つて副會員は、指導項目に依つて參加する場合と不参加の場合とに別れる譯である。

尙從來女子の活動は、殆んど省られてゐないで、獨り男子の活動のみであつたが、出

1、名稱
少年團なる名稱は、近時益々多くなつて來たが、該運動は校外生活教育の一種と、見なされるが、小學校の延長としての意義は全々認められない。

い。かるが故に横濱市等では校外生活指導を、少年團と區別する爲に「校下少年團」としてゐる。私は少年會（少女3、組織

部落少年會

村少年會

(以下次號)

(以下次號)

縣主催學級經營

訓導協議會

出席者二市三郡に亘る

於橫濱市石川小學校

十一月九日、横濱市、川崎市、久良岐郡、橘樹郡、津久井郡の各小學校から各一名宛を石川小學校に召集して、東京高師教授佐々木（川崎市）實際の二方面に亘りて改善を要すべき點並其の具體的方案如何

秀一先生指導の下に訓導協議會が開催された。縣官として齋田視學官、萩原親學を先頭とし、横濱市からは須原、川口、鈴木の各視學等臨場、午前九時から午後五時まで研究問題協議、實地授業參觀、研究問題協議、質疑解答、講評、講演といふ順序である。雨降りの寒い日も拘らずいとも熱心に行は

三、兒童の成績を決定するに當り其の標準を何れに置くを適當とすべきか（久良岐郡）

四、日本精神を學級經費に實現する根本方法如何（橘樹郡）

五、現代世相に鑑みたる義

解。答。
 右一括して協議
 營方案（津久井郡）
 務教育完成期の學級經
 質疑に對する佐々木先生の
 開究問題協議に入るやまだ出題

者の説明もない中に早や意見を述べる訓導もあつたことを見て、如何に其の熱烈であつたかが想像されるでせう。而し餘り行事が多い爲めに遺憾ながら各自が其の抱負を發表する事の出来なかつたことは出席者一同の憾であつたらしい左に研究問題について其の大體を掲ぐ。

「男女學級編制は何學年までが適當なりや」は小學校は男女共學でよろしい。

「學級自治會の理想的組織を問ふ」は自治會は尋三位からでもなし得る。

「學級を數個(二乃至三)に分團する可否」は分團式教授之は融通し得られるものはやつてもよい。而し根本は學級の人員を

素質低劣なる兒童の指導法並學習材料は如何にすべきか(横濱市)

減らす事だ。それならば分團に分つ必要もない。

「學級經營に何々主義と標榜す

講師、佐々木先生の指導。素質^{そしつ}
俱劣なる兒童に對し國家が特殊
學校を置く必要があらう。また
一學校に於て低能兒を主とする
學級を設けることもよい事であ
らう。先刻の發表意見の中に問
題をなるべく少くして反覆練習
すべしといふに對し、低い程度
のものを澤山に課すべしとする
兩つの御意見を承つたが、僕は
後者に賛成したい。

さきほど述べた通り、この「個性調査」は主義にかたまることの可否^{かひ}には主義にかたまることとは大に考へなければならぬ。「個性化と社會化」と實現する學級の相互生活機構如何^{いか}は教育は個人化より社會化するべき重要なものなり。教育は親が教育するのではない、國家が教育するのだ。故に國家に反する様な教育してはならぬ。即ち家から離れ、國から離れる様な者を教育してはならぬ。

「學級經營上有効なる個性調査」

低脳が兒童に對しては作業的の仕事をもくしたい。教師の性格を考慮におきたい。

指導法としては純潔な生活じんけつなをなさしむることゝ忍耐を以て之に當ることである。先刻の御意見にも、怒りつばいのはいけないとの御話でありましたが其の通りであります。

二、學級經費の根本精神及學級の意味。學級は家庭と同一の範圍如何」は個性を餘り澤山の項目に分けて調査すると結局個性が分らぬことになる。

「兒童心理の發達に顧みて初學年に於て合科的取扱をなすに當り法規上の時間との關係は如何にすべきか」は合科的の教育は法規に觸れない。

○佐々木先生の講演

見たい。又國家と同一に見たい。日本は家庭が單位で而して國家が成立つて居るのである。西洋の單位は個人で、然る上に社會があるのである。

一般的の學級經營方針に就て
學校の生活内容を豊富にして行くこと。
學校に生命ある力が流れて居ること。
之が無意識的の力、即ち校風ともいふべきもの。之がないと教育に骨が折れる。分つたか、分つたらやれではどうかと思ふ。

學級は個性の集合である。個性は尊重すべし。それには學級人員を可成少くする事である。而し兒童一人に教師一人では之れまた模倣の重要性を殺ぐことになる。先づ三十名乃至四十名か。

都市の兒童は刺戟が餘りに多過ぎる。従つて印象が浅い。日々の先生の話は知つて居る事が多い。それだけ教育の困難點がある。それに對し教師の探るべき態度として「こんな話を聞いた事がある」かとこれから始めるのだ。何時も此の用意が必要である。

學級經費の内容的方針
教育の改造問題が起つてゐる。制度の改革も叫ばれてゐる。而し制度の改革は方法に屬するもので、あると考へる。凡そ日本の教育を立直すには次の三方法がある。

一、方法
二、内容
三、教師

内容といふのは其の國獨特の文化を内容としたもの、謂である。日本は惜しい事には内容が未だ研究して無い。次に教師につきては先づ日本人たれ、とかくいひたい。かつて私は獨逸で西洋文化の没落を讀んで大に感じたことがある。日本國民は我が國特有の文化に對して餘りに無頓着である。殊に國語に至りて其の甚しいものがある。當字が多い、口には立派に云へるが書かして見ると其の字が云へない、新しい言葉がだんだん増加して行くのは世の文化に伴ひ喜ばしいことではあるが其の文字に至つては甚だ寒心に堪えぬものがある。かなづかひに至つては殆んど間違ひだらけと云ひたい。要は日本の言葉馬鹿にして居るのだ。外人が國歌を台唱した場合には甚だしく揃ふに反し、日本は君が代さへも大人と子供がうまく揃はない、何となさけないことではありませんか。其他、地理、國史、理科など

<p>公民教育と同一にすべきものであらう。</p> <p>教育は次の如くありたい。</p>		<p>ナチスの改革案によると</p> <p>一、労働の奉仕</p> <p>二、國防の奉仕</p> <p>三、智識の奉仕</p> <p>新に労働、國防が加はつた譯である。</p> <p>終に望み一言したい。日本の教育は家より、また國より離れる教育はするな。之れであります。</p> <p>以上</p>		<p>た。</p> <p>午前十時から當校の學級經營に關する 研究授業が行はれた。</p>	
<p>一、移動學級</p> <p>(讀方、算術の二科目に限り能力) (別に臨時に學級を移動するもの)</p>		<p>尋 四 (劣) 讀方 (卷八第十一 大岡さばき)</p> <p>尋 五 (劣) 算術 (分數 應用問題 四) 算術 (分數 應用問題 四)</p> <p>尋 六 (劣) 讀方 (卷十二第八ヨロツバの旅) 讀方 (卷十二第八ヨロツバの旅)</p>		<p>二、補助學級</p> <p>(兒、成續劣等兒を以て臨時に複式學級を編制するもの)</p>	
<p>三、養護學級</p> <p>(比較的虛弱なる兒童を以て編制したるもの)</p>		<p>尋二、三、四、算術 (簡單なる事實問題)</p>		<p>四、普通學級</p> <p>尋一、綴り方 (タコアゲ)</p> <p>高一男、修身 (第十四職業實踐指導)</p> <p>高二女、家事 (料理實習、芋飯、和物)</p>	
<p>移動學級の尋四の讀方、尋五の算術、尋六の讀方と順次參觀しましたが實によく整つてゐました。能力相當に活動する様は觀てゐても心持がよい。たゞ一つ感じたのは尋五のA組の算術です。一時間の大半は $15 \div 10 = 1.5$ の計算に費した様だつたが、それよりもつと簡單なものを澤山練習した方がよいやうに思つた。</p>		<p>養護學級の尋三、衛生學習訓練に入つた。教室の前方には消化器を主としたる人體圖が掛けてある。兒童の机上には掛圖と同様の印刷物一枚づつ、白紙の上には錫、おかき、おかき載せてある、其の傍に手拭が正しく折つて、右側にはコップに湯が入れてあつた。お</p>		<p>補助學級の尋二、三、四の算術を參觀した。教室は特別室、教具室兼用で、指導者は本時の手際の訓導であつたらしい。兒童は皆で十二名であつた。印刷物の計算問題を熱心にやつてゐる、また先生に持つて行つて指導を受けてゐる、教具で實驗、實測をやつて居る等委く其の眞剣なのに感服した。教室内には算術に相應しい設備がしてある。模</p>	
<p>型、カード、玩具、塗板、柿</p>		<p>などの果物、繪畫、實測器等其の環境宜しきを得てゐる。最後に</p>		<p>會者に、確つかりせよと促された感がした。尙當校の詳細</p>	

道に研究されたあとに歴然たるものがある。子を思ふ親心、兒童の教養はかくありたいものである。(昭和八・十一・九)

満洲の旅行の雑感 (前)

村尾 留吉

我が生命線上の満洲國
 前にも述べた通り満洲國は我が全土の約二倍の地積を有してゐるにもかゝらず、其住民は我が國の三分の一といふ僅少さである。所が土地は豊穡であるにも拘らず、其利用方面に至つては、農地として耕し得る土地は、二千五百餘萬町歩あるが、未開の土地が一千二百五十餘萬町歩丁度半分しか耕されてゐない。其開墾された所としても、都會近郊は別として、殆んど無肥料で作つてゐる。勿論無肥料でなければならぬ程肥沃である。

國家として移民政策は講じてゐるが、兎にも角にも彼國民とも能く提携して、邦家の爲彼國の爲に盡すには、どうしても可成早く、可成多數の移民の方策を講じて、日本と滿洲國の提携を愈々鞏固にすると同時に、東洋平和の確保を期せなければならぬ。そしてこそ始めて我が國として其使命の第一歩を印することが出来るのであると信ずる。それにはどうしても今日迄の様に滿洲國に渡つて、僅かの時日に大なる利を求め而して故郷に錦を飾るといふ様な考をすて、寧ろ彼地に止まり滿洲國人と同一なる境地を蹈んで、そして十年十五年後の成功を期し、終生彼地の開拓者を以てし、後進者を率ゐるの開祖として、任じなければならぬ。只一時的の成功を夢見る者、故郷に錦を飾らんとする者は寧ろ渡滿の舉に出ない方が國策を得たものと見なければならぬと思ふ。現在在彼國に於ても、我と提携して立つべく極力我を信頼し、我亦其爲に大に立つあらんとしてゐる所である。東洋平和の基礎は正に日滿兩國の肩にかゝるといふべき秋であるから、お互に自重自愛人類平和の爲に、世界和樂の爲に各の其の分を盡さなければならぬ時である。

農林業の一一般

農林業方面といふても其範圍は實に廣大であるから。之を盡すことは到底不可能であり、又素通りした者が兎や角り、批評することは、當らないことも多々あるであらうが、至極簡単に書いて見ることにした。

前にも述べた様に農耕可能地の半分が、未開地ではあるが、實に肥沃であつて、當分が、無肥料でなければ耕作不能の狀態である。現に都會附近或は鐵道沿線に於ける開墾地八ヶ年も其儘無肥料耕作地として、堪へ得る否無肥料作でなければ却つて思はしくない狀態から見て、實に將來を囑するに足るものがあるではあるまいか。一部はアルカリ性強烈なる地として、殆んど農耕に不適な所がないではないが、それ等を除外しても其地の開拓者として、滿洲人を率ゐる人としての堅實なる渡滿を要することは、愈々益々緊切なるを覺ゆるのである。

現在滿洲鐵道會社に於て經營する農事試驗場も、二三見學をたしし、尙又大連市外に

於ては、個人經營による農業も説明を受けたが、實に見事な程よくやつてゐて、意を強うすることが出来た。併し試験の結果はよし、個人の經營であるに面白いといふ例證はあるにしても、一般治安の道が講ぜられてゐなければ、全般に及ぼすといふことは出来得ない。併し現在幾分匪賊の出沒はあはるにしても、彼我軍隊の警備は相當に充實してゐるから、今直ぐにも其警備の下に經營をして行くことが出来様と思はれるのである。

山林方面としては、吉林省を以て第一に數へなければならぬ。現在迥別に其造成に手染めしたのではないが、自然林として實に見事なものである。現吉林河岸に繋がれた木材を見ては、昔のまゝに放任して置くことは出来ない。將來其造成には特別なる方策を樹て、其利用厚世の道を開かなければならぬ。數字上の調査を充分に知ることの出来なかつた事は、甚だ遺憾なことではあるが、人跡未だ見ざるの土地に生ひ茂れる自然林の現在調査の容易ならざるものがあるであらうと信ずる。

水 田

水さへ豊なれば水田は何程でも出来、米も十二分に産するであらうが、見渡す限りの平原で、水の便を缺いてゐるのみならず、滿洲國人は水の中に入ることを大に忌むさうである。吾々の見學の範圍では、僅かに奉天近在の一小部と、吉林省（朝鮮北方接續地）に相當面積の水田經營を見たもののみだが、之等の耕作は悉皆朝鮮人の手によりて成されてゐるので、彼の勞働者が日々飢餓を凌ぐ氣の毒なスイトン様のを食物に代ふるに米を以てする日は、遠い將來だらうと考へる。併し彼滿洲國人が米を嗜むことは非常なものであるから彼我双方の手によつて耕作方法の案出が出来れば幸である。



花園への道 (2)

鳳山生

一、過去の夢は戯曲「龍樹」

「江川さん、あなたは、大變な勉強家でいらつしやるさうで」
現に、シカと歩みを進め出した桂子は、静に、而も、いと親しく始めは先に立ち、今は肩を並べて歩いてゐる青年に話しかけた。
「桂子、湖のやうな深い色の眼をチラと見たが、直ぐに正面を向いて、時々赤くなりながら、
「僕は、モツと勉強しなくてはならないと思つてゐます」
と、辛直に答へるのだつた。
「私は、白河先生から、あなたの志を伺ひましたよ。現代の青年に、稀に見る御母様の孝行、かて、新井白石を思はせ、水行までなすつての御勉強」
桂子は、再び、感激の眼を、此の意志の強さな青年に向けた。
「江川君が、父、それは三多の漢學者、亡き後、病身の母をいたはつて、農事を勤むかたは、其の志すところに勇猛進する有様は、見る人をして、聞く人をして涙を流はさしめずにはおかなかつた」
其の貧困の中に苦學して、府中の私立中學を卒業し、直に地歴の文検をパスして、今年やうに二十歳の身を、徳川夫人に囑目され、夫人の經營にかゝる、武蔵境高女の創業にたゞさはるやうになつた時は、浩の在り、吉祥寺町の郷黨を驚かせて了つたのである。
「あなたには、生徒募集の事について、一方ならぬ御苦勞を掛けてゐますし、かた、一度御母様に御目にかゝつて、いろいろ御話を申し上げたいと思つて居りますよ」
「遠野先生」
青年は、思ひ入つたやうに桂子の眼を見つめた。
「僕先生に御願ひがあるんです」
「何の御願ひ？ 若し御勤めの方で、地歴を受持つて頂きたいと思つてゐますのよ」
「有難う御座います。さうして

「さうです、僕の戯曲家を望むのは、教育の爲めなんです」
先生、僕は貧困に生れ、貧困に成長してゐますから、劇場といふものに親しむ機會は餘りありませんでした。ですから、實演そのものが、僕を刺激して、戯曲家にさせようとしたのでないか、これは御分りのことと思ひます」
青年は、遙かに、前方に連なる武州の山々を望みながら、向も言葉も續けるのを止めた。
「僕と、僕の最も親しい友人とが、昔で、在學時代に、歴史と地理との二科の學習に困難を感じた、と云ふよりも、むしろ、かゝる好材料がありながら、何故モツと、人々は、地歴を活かして教へ、又活かして教へられなかつたか、それを考へたのが、僕に戯曲家を志さしめる動機でした。僕は、歴史を、地理を、僕に取り扱つて、それを否でも應へる總べての人に覚えさせる事について考へ始めました。そこで、僕は、日本の歴史を全部ドラマにしよう、さうして、それを押しひろめて、東洋史全體に及ぼさう、然しそれが、決してお伽噺であつてはならない、又所謂お伽噺になつてはならない、文明史的に、進化的に、生活史的に、而も、大いに哲學的になつなければならぬ、と考へました。一方、又、地理の方は、僕は、これを悉くシネマに待ちたい、恐らく、將來は、映畫全盛の世の中です、映畫を以つて、日本の地理を、東洋の地理を、世界の地理を、それも、唯、其の廣さとか、風俗とか、都名とかを云々するに止まらず、モツと有機的に綜合し天文から地文まで、たとへば、あの英國のウエルズの小説のやうなストオリイを作らなければならぬ、と考へました。これは獨り日本人ばかりでなく、東洋人を、世界人を指導する上に、先生、僕が爲さねばならぬこと、覺悟を

「教育の爲めに戯曲を作らうと仰しやるのですか」
桂子は、此の情熱的でもある青年に聞いて見た。
「さうです、僕の戯曲家を望むのは、教育の爲めなんです」
先生、僕は貧困に生れ、貧困に成長してゐますから、劇場といふものに親しむ機會は餘りありませんでした。ですから、實演そのものが、僕を刺激して、戯曲家にさせようとしたのでないか、これは御分りのことと思ひます」
青年は、遙かに、前方に連なる武州の山々を望みながら、向も言葉も續けるのを止めた。
「僕と、僕の最も親しい友人とが、昔で、在學時代に、歴史と地理との二科の學習に困難を感じた、と云ふよりも、むしろ、かゝる好材料がありながら、何故モツと、人々は、地歴を活かして教へ、又活かして教へられなかつたか、それを考へたのが、僕に戯曲家を志さしめる動機でした。僕は、歴史を、地理を、僕に取り扱つて、それを否でも應へる總べての人に覚えさせる事について考へ始めました。そこで、僕は、日本の歴史を全部ドラマにしよう、さうして、それを押しひろめて、東洋史全體に及ぼさう、然しそれが、決してお伽噺であつてはならない、又所謂お伽噺になつてはならない、文明史的に、進化的に、生活史的に、而も、大いに哲學的になつなければならぬ、と考へました。一方、又、地理の方は、僕は、これを悉くシネマに待ちたい、恐らく、將來は、映畫全盛の世の中です、映畫を以つて、日本の地理を、東洋の地理を、世界の地理を、それも、唯、其の廣さとか、風俗とか、都名とかを云々するに止まらず、モツと有機的に綜合し天文から地文まで、たとへば、あの英國のウエルズの小説のやうなストオリイを作らなければならぬ、と考へました。これは獨り日本人ばかりでなく、東洋人を、世界人を指導する上に、先生、僕が爲さねばならぬこと、覺悟を

「さうです、僕の戯曲家を望むのは、教育の爲めなんです」
先生、僕は貧困に生れ、貧困に成長してゐますから、劇場といふものに親しむ機會は餘りありませんでした。ですから、實演そのものが、僕を刺激して、戯曲家にさせようとしたのでないか、これは御分りのことと思ひます」
青年は、遙かに、前方に連なる武州の山々を望みながら、向も言葉も續けるのを止めた。
「僕と、僕の最も親しい友人とが、昔で、在學時代に、歴史と地理との二科の學習に困難を感じた、と云ふよりも、むしろ、かゝる好材料がありながら、何故モツと、人々は、地歴を活かして教へ、又活かして教へられなかつたか、それを考へたのが、僕に戯曲家を志さしめる動機でした。僕は、歴史を、地理を、僕に取り扱つて、それを否でも應へる總べての人に覚えさせる事について考へ始めました。そこで、僕は、日本の歴史を全部ドラマにしよう、さうして、それを押しひろめて、東洋史全體に及ぼさう、然しそれが、決してお伽噺であつてはならない、又所謂お伽噺になつてはならない、文明史的に、進化的に、生活史的に、而も、大いに哲學的になつなければならぬ、と考へました。一方、又、地理の方は、僕は、これを悉くシネマに待ちたい、恐らく、將來は、映畫全盛の世の中です、映畫を以つて、日本の地理を、東洋の地理を、世界の地理を、それも、唯、其の廣さとか、風俗とか、都名とかを云々するに止まらず、モツと有機的に綜合し天文から地文まで、たとへば、あの英國のウエルズの小説のやうなストオリイを作らなければならぬ、と考へました。これは獨り日本人ばかりでなく、東洋人を、世界人を指導する上に、先生、僕が爲さねばならぬこと、覺悟を

「さうです、僕の戯曲家を望むのは、教育の爲めなんです」
先生、僕は貧困に生れ、貧困に成長してゐますから、劇場といふものに親しむ機會は餘りありませんでした。ですから、實演そのものが、僕を刺激して、戯曲家にさせようとしたのでないか、これは御分りのことと思ひます」
青年は、遙かに、前方に連なる武州の山々を望みながら、向も言葉も續けるのを止めた。
「僕と、僕の最も親しい友人とが、昔で、在學時代に、歴史と地理との二科の學習に困難を感じた、と云ふよりも、むしろ、かゝる好材料がありながら、何故モツと、人々は、地歴を活かして教へ、又活かして教へられなかつたか、それを考へたのが、僕に戯曲家を志さしめる動機でした。僕は、歴史を、地理を、僕に取り扱つて、それを否でも應へる總べての人に覚えさせる事について考へ始めました。そこで、僕は、日本の歴史を全部ドラマにしよう、さうして、それを押しひろめて、東洋史全體に及ぼさう、然しそれが、決してお伽噺であつてはならない、又所謂お伽噺になつてはならない、文明史的に、進化的に、生活史的に、而も、大いに哲學的になつなければならぬ、と考へました。一方、又、地理の方は、僕は、これを悉くシネマに待ちたい、恐らく、將來は、映畫全盛の世の中です、映畫を以つて、日本の地理を、東洋の地理を、世界の地理を、それも、唯、其の廣さとか、風俗とか、都名とかを云々するに止まらず、モツと有機的に綜合し天文から地文まで、たとへば、あの英國のウエルズの小説のやうなストオリイを作らなければならぬ、と考へました。これは獨り日本人ばかりでなく、東洋人を、世界人を指導する上に、先生、僕が爲さねばならぬこと、覺悟を

「さうです、僕の戯曲家を望むのは、教育の爲めなんです」
先生、僕は貧困に生れ、貧困に成長してゐますから、劇場といふものに親しむ機會は餘りありませんでした。ですから、實演そのものが、僕を刺激して、戯曲家にさせようとしたのでないか、これは御分りのことと思ひます」
青年は、遙かに、前方に連なる武州の山々を望みながら、向も言葉も續けるのを止めた。
「僕と、僕の最も親しい友人とが、昔で、在學時代に、歴史と地理との二科の學習に困難を感じた、と云ふよりも、むしろ、かゝる好材料がありながら、何故モツと、人々は、地歴を活かして教へ、又活かして教へられなかつたか、それを考へたのが、僕に戯曲家を志さしめる動機でした。僕は、歴史を、地理を、僕に取り扱つて、それを否でも應へる總べての人に覚えさせる事について考へ始めました。そこで、僕は、日本の歴史を全部ドラマにしよう、さうして、それを押しひろめて、東洋史全體に及ぼさう、然しそれが、決してお伽噺であつてはならない、又所謂お伽噺になつてはならない、文明史的に、進化的に、生活史的に、而も、大いに哲學的になつなければならぬ、と考へました。一方、又、地理の方は、僕は、これを悉くシネマに待ちたい、恐らく、將來は、映畫全盛の世の中です、映畫を以つて、日本の地理を、東洋の地理を、世界の地理を、それも、唯、其の廣さとか、風俗とか、都名とかを云々するに止まらず、モツと有機的に綜合し天文から地文まで、たとへば、あの英國のウエルズの小説のやうなストオリイを作らなければならぬ、と考へました。これは獨り日本人ばかりでなく、東洋人を、世界人を指導する上に、先生、僕が爲さねばならぬこと、覺悟を

「さうです、僕の戯曲家を望むのは、教育の爲めなんです」
先生、僕は貧困に生れ、貧困に成長してゐますから、劇場といふものに親しむ機會は餘りありませんでした。ですから、實演そのものが、僕を刺激して、戯曲家にさせようとしたのでないか、これは御分りのことと思ひます」
青年は、遙かに、前方に連なる武州の山々を望みながら、向も言葉も續けるのを止めた。
「僕と、僕の最も親しい友人とが、昔で、在學時代に、歴史と地理との二科の學習に困難を感じた、と云ふよりも、むしろ、かゝる好材料がありながら、何故モツと、人々は、地歴を活かして教へ、又活かして教へられなかつたか、それを考へたのが、僕に戯曲家を志さしめる動機でした。僕は、歴史を、地理を、僕に取り扱つて、それを否でも應へる總べての人に覚えさせる事について考へ始めました。そこで、僕は、日本の歴史を全部ドラマにしよう、さうして、それを押しひろめて、東洋史全體に及ぼさう、然しそれが、決してお伽噺であつてはならない、又所謂お伽噺になつてはならない、文明史的に、進化的に、生活史的に、而も、大いに哲學的になつなければならぬ、と考へました。一方、又、地理の方は、僕は、これを悉くシネマに待ちたい、恐らく、將來は、映畫全盛の世の中です、映畫を以つて、日本の地理を、東洋の地理を、世界の地理を、それも、唯、其の廣さとか、風俗とか、都名とかを云々するに止まらず、モツと有機的に綜合し天文から地文まで、たとへば、あの英國のウエルズの小説のやうなストオリイを作らなければならぬ、と考へました。これは獨り日本人ばかりでなく、東洋人を、世界人を指導する上に、先生、僕が爲さねばならぬこと、覺悟を

作法

日本食と其の饗應

- ◎略式吸物膳
大抵の饗應には、この略式が用ひられてゐる。
 - 一、配膳
吸物膳は客の方に向け、兩手を膳の縁にかけて持ち出で、よき程のところに跪いて膳を置き、兩手で客の正面に示める。
 - 二、膳
吸物膳と同じやうにして持ち出で、吸物膳の右方に出す。
 - 三、焼物膳
略式吸物膳の場合も、物のあつまい方、食事に準じた、酒を嗜まぬ人も、始めの一献は祝意を表して受けるが、いかに飯膳を待ち兼ねてゐるやうな、手持無沙汰をしてゐてはいけません。
- ◎茶菓
食事の終つた時、悉く膳部を引き、相當の茶菓子を出す。
- ◎受膳
略式吸物膳の場合も、物のあつまい方、食事に準じた、酒を嗜まぬ人も、始めの一献は祝意を表して受けるが、いかに飯膳を待ち兼ねてゐるやうな、手持無沙汰をしてゐてはいけません。

宮中喪中

國旗掲揚及諸式心得

- 一、宮中喪中
（昭和九年一月廿一日迄）
ノ祝祭日ニ國旗ハ如何ニスベキカ
○通常の國旗を掲ぐる可と
- 二、新年ノ祝賀式遙拜式ハ如何ニスベキカ
○祝賀式、遙拜式を行つて可なり
- 三、年賀狀ノ交換年賀廻禮ヲ如何ニスベキカ
○年賀狀、年賀廻禮差支なし
- 四、各種祝賀會ノ開催ハ如何ニスベキカ
○祝賀會等の開催差支なきも其の方法に付ては多少の遠慮を加味せらるる方可ならむ

◎日本食について注意

- 一、膳の縁に膳の端をうやうに注意し、膳を汚さぬやうにする
- 二、箸を深く汚さぬこと
- 三、ガツ／＼と性急に食べぬこと
- 四、或る菜に箸をつけ、思ひかへして他の菜を取るやうなことをしてはいけません
- 五、飯の再迎三迎の時は、必ず箸を置いて待つ
- 六、飯の再迎三迎を受けた時は、一旦、それを膳の上に置き、更に取り上げて食すること
- 七、碗の底を探り、箸を握め、又食しながらあたりを眺め廻すやうなことをしてはいけません
- 八、香の物は、必ず最後の湯、又は茶の時にいただく

經濟閑話

弗王國の金融機關

主として銀行に就て

白幡 一燈

凡そ不完全なる管理、統制、下にある金融機關は危険なものは無い。不當若くは不良の貸付、運用によつて自滅する多くの銀行、金融會社は殆んど此種に屬する。

最近アメリカの銀行が之れを例證した。

元來、アメリカの銀行には中央政府によつて設立を許されたものと四十八の各州法によつて設立の特許を受けたものとがあつて、而かも其機構並に資金運用に關する法規及監督は至極寛大であつた爲め、金融界の中樞を英國から奪つて、歐洲大戰後には一躍世界の純債權國となり一般諸國から弗王國と立てられたアメリカにも再三に亘つて銀行の休業、破産、所謂金融恐慌が屢々襲ひ來つたのである。

一九一三年聯邦準備法制定に依つて多少小康を得たが、地銀行界も實際、根底的には依然混亂を孕むて居たのであつた。現に一九二〇年から二九年にかけて、銀行破産の數は可なり多數にのぼつたことは周知の事實である。

マック、フアツデン氏などは其實情に鑑みて根本的銀行改革を高唱したものだ。然し、決裂の大河は一俵の砂利位では堰き止め得なかつた。又、上院議員のカーター、グラス氏の銀行統制案も、至極實情に適したものであつたが之れが法律として採用せらるゝまでには幾多の迂曲曲折を免れなかつた。

其間、一方、銀行では不相關、資金が投機に運用され、不動産貸付や不良事業に固定され加ふるに深刻なる不況が

備銀行が他へ融資する云は、援助的立場にある以上、其融資に就ても額や對價を決定する以前に、先づ融資をなすべきや否やを考へる必要がある。銀行の内容が、不合理に多額な證券貸付をして居るものと又不動産や商品に對して餘りにも投機的に投下せる資金關係に立つものとには一考慮を惜しんでならないといふのだ。

銀行の基礎は信用の上に樹ち、銀行の使命は安全なる資金運用にあるべきだ。夫れが若し一般民衆から不安視され、疑惑視されるやうでは、銀行の生命は零と云はねばならぬ。だから余の所信は、從來の聯邦準備制度を更に強化して一方準備局に一層廣汎なる權限を賦與せざれば到底銀行統制の實を擧げ以て其基礎的改革を期待し得ずと云ふにある。

二、支店制度
從來のやうに各州で極めて容易なる銀行設けの特許制度を設けることは單に其數に於て過剰を來すのみならず、同時に質を惡くするものである。即ち資本の少額なるもの、又資本の偏頗的なもの(棉花地方では棉花、小麦地方では小麦、資本を大部分即ち等)が生れる弊を如何とも致し難い。

加之、銀行の數が際限なく増加して行くことは勢い當局の監督を不行届ならしめ、經營の不健全にも注意が及ばぬことも遺憾ならぬ事實である。

だから、精々、非加盟銀行を聯邦準備制度下に加盟せしむる一方に於て、資産信用の鞏固なる銀行をして之れが支店を州内各地に併置せしむることは安全なる金融機構延長の意味で至極良い方法だと思ふのである。

尤も之れに對しては小なる州法銀行の反對あるべく或は其等の廢業を伴ふことも或程である。

度迄實現を豫想せられるが、其れは大事の前の小事である。銀行制度を本質的に改造して行くことは破産や休業を防止して善なる預金者を保護する所以で、銀行統一も其監督も、將た其他の制度も此目的以外には期待し得られないのである。

前號五とあるは六の誤り、なほ前號(第二十五號)「ラウ」の小傳の末に左記脱漏があつたので補正します。

この日は約二週間前に先着した彼の有名な「ボン博士夫妻に迎へられ、一時「ボンの假寓神奈川宿の成佛寺に身を寄せ、其後横濱に轉居した。彼は本邦に渡來と同時に、日本語の研究をはじめ、少しく解する様になるや否や直ちに新約全書の翻譯に着手し、逸早くも口語體日本語の一書を著した。この書は邦人が英語を學ぶためにより手引となつたといふことだ。彼が英學所の教師になつたのは渡來後足かけ四年で満三年目である。彼れは英語教師を勤むる餘暇を以て、日曜日に横濱に在留の外人の爲めに教説をもした。彼れが神奈川から横濱に轉居した時、其教を受けた英・米・蘭公使館附文武官及び實業に携はる外人等が、一千五百弗を贈出し、山手二百一十一番に軒の家屋を新築して贈呈した。彼れは其後、こゝに住居してゐたが、慶應三年五月不幸にして火を失ひ烏有となした。この不慮の災厄の爲め、彼れは一旦家族を引き連れて歸國したが、再渡の志に燃えて居た。たまたま我政府が新開の新潟港に一英語學校を設置する機会にあひ、招聘に應じ六十の老軀を提げ再び來朝し、明治二年八月廿四日横濱に安着し、陸路新潟に赴任した。翌三年秋横濱に歸來し、官立の修文館の教師となり、傍ら聖書翻譯の爲めに心血を傾注した。明治六年契約満期により修文館を辭し、其年十二月五日より山手二百一十一番(今の公立女學校敷地の一部)の自邸に家塾を開き、數十名の學生を教育する傍、新約聖書の翻譯に勵精し、遂によくこれを完成した。明治十二年健康を損じて歸米し、一八八一年(明治十四年)七月二十日郷里「ニュー・ヘブ」で歿した。近年米國聖書協會は、彼れが邸址である今の公立學校構内の傍に、「新約聖書翻譯記念の地」なる記念標を掲げた。

(七) 遷變の情事育教縣川奈神

明治五年初指の横濱毎日新聞に、
第一市學校 伊勢山下明治四年十二月十九日開校。
教師 福澤諭吉(假校舍) 同日開校。
第二市學校 入船町(假校舍) 同日開校。
佛蘭西、獨逸等の教師。
と掲載してある。但し福澤諭吉は自身關係せず、門下より莊田平五郎、小幡甚三郎、三澤恭哉等を推薦したことであつた。第一校舎は洋風木造の二階建て、千人を容るべき規模宏大のものであつた。教師には米國人ジョン・バラ外數名を僱聘し、英語・獨語を教授し、これを正則科とし、外に變則科及び漢學科を置いた。此學校は時代の要求に順應したので其評判が頗るよく、一時七百餘名の生徒を收容するの盛運を呈した。

二而總會に於て、當校設立者高島翁が、真正之教育と題して演説せる其速記録に「余ハ明治四年ヲ以テ、國家ノ爲メニ金三萬圓ヲ抛テ、横濱ニ學校ヲ建築シ、教師ヲ外國ヨリ聘シ、有爲ノ子弟ヲ薰陶セリ。」とある。神奈川縣教育會雜誌第九號に掲載。高島研氏所藏。伊勢山下に校舎を建築し、高島學校と名づく。其學科を洋學と漢學とに分ち、教師には米國人「ドリー」氏を聘したり。氏は大學南校に七千弗の年俸を以て傭はれたる人にて、是に獨佛語を教授せしめ、英學には米國人「バラ」氏兄弟を招聘して擔任せしむ。以上を正則科とし、別に變則科を設け、其教師には福澤諭吉氏の推薦により、同氏門下の莊田平五郎、小幡甚三郎、三澤恭哉の諸氏を聘して、變則科を分擔せしめ、漢學科は今川常五郎、坂戸小八郎の兩氏教師を執り、攻々拮据の功を立しからず、七百餘名の學生を有し、校運隆々の勢ありき。然るに天下の英才を集め教育したる事は、端なくも政府の忌諱に觸れしが、幾程もなくして官僚の誤解を釋くを得たり。明治六年一月學校設立の功に對し賞狀と銀盃とを下賜せらる。

高島 嘉 右衛門

右ハ方今ノ形勢ヲ體認シテ開化ヲ助クル宿志篤ク、己ニ學校ヲ建築シ、教師ヲ外國ヨリ雇ヒ、書籍・窮理器械圖書ヲ購ヒ入レ、加フルニ生徒ヲ養育ニ至ルマデ、彼是數萬金ノ費耗ヲ顧ミズシテ、心ヲ盡ス。其志益々勉勵、其功愈々堅硬、大ニ進歩ノ首唱ヲシ候段、奇特ノ至リニ付、賞與トシテ三組ノ銀盃下シ賜リ候事
(前に引用した教育會雜誌には、政府之ヲ嘉賞セラレ三組ノ銀盃ヲ賜ハリタリ。是レ我邦銀盃賞賜ノ嚆矢ナリ。其狀ニ曰ク、とありて、次に前文が載せてあるが、文語に所々相違があり、未文は右爲賞與銀盃下賜候條此段相違候事となつて居り、明治五年一月十七日と年月日が記してある何れが正、何れが誤か明かない)

斯くて高島學校は時勢の要求に應ずる新教育を施したるを以て、幾多の人材を其門下より出せり。其重なる者を擧ぐれば寺田毅・本野一郎・都築六六・得能通昌・海軍少將小田幸・農學博士本田幸介・農家博士宮部金吾の諸氏を初め、三井物産株式會社理事渡邊孝次郎・横濱正金銀行倫敦支店長西卷豊佐久・長谷川喬・福岡精一郎・内藤久寛・増田増藏・碓山晋高木可久・中國慣習の諸氏はれなり。高島學校は明治六年、無償を以て之を横濱市に引續きしが、間もなく顏焼の厄に遭ひ遂に復興すること能はざりしは遺憾なり。

高島は此創設に莫大の費金を投じたれば、後來繼續の困難なるを豫想し、六年一月之れを横濱市に寄附したれば、市は若干の金圓を彼れに贈りて謝意を表し云々。

嘉右衛門は毎月數百圓を支出して學費を資けたので、其保護により舊藩失業者の子弟が爭ふて其門に集まりたること、舊藩生の退學により大學南校の稍衰運に向ひたること、東京には慶應義塾の外未だ見るべき私立學校のなかつたこと等があつた。此學校を隆盛にしたといふことである。

更に設立者高島嘉右衛門自叙傳中より抄出して、其實況を掲げて見やう。

明治三年の秋、三年は四年の誤りであらう。明治二十一年十二月十三日、横濱町會所樓上に開催された神奈川縣教育會第



教育時報俳壇

太眞堂滄洲宗匠撰

秀逸

蕙舟を漕ぎぬく羽田藝者かな
くゝある茶店の裏の蕙の舟
白菊の盛りすぎたる外輪かな
借りものゝ黄菊を前に小商ひ
秋はいづこ懸崖の菊眞平
聖蹟の垣に小菊のかをりけり
焼蕙を吊して呼べる茶店かな
流れよる水神箱か蕙の潮
親舟の帆の影よりも蕙の竿
鶴見川濁へて居れと蕙日和
蕙つるや見晴亭の手摺なり
蕙つるや後ろさめく声襖
多摩川のくひせゝの蕙の秋
河尻の海ともつかず蕙の秋

五客

だぼ蕙や見えておかしき釣
方丈の鶴の如しや菊日和
菊の鉢幾つ並べて庭廣く
蕙舟や穴守さまの細江より
輪臺をすべりて蕙の衰へぬ

三光

洗ひ居る舟のかげより蕙の竿
菊の香や庭一ぱいの初の上
白菊や灯に遠ければうすみどり
蕙釣るや水を流るゝ雲の影
運び行く菊の香高し晴るゝ街

(次回ノ課題ハ十日發表ノ春季雑誌歳旦モ含ミマス選者太白堂君ハ太眞堂ノ誤植デス)

横濱 専門 給費生入學志願者募集

給費金額

第一種給費生 年額金壹百圓也
第二種給費生 年額金壹百圓以上參百圓以下
本給費ニ對シテハ返還其他何等ノ義務ヲ負ハスモノニアラズ

募集人員

出願資格

出願者ハ志操鞏固、品行方正、身體健全、教養成績亦良好第四學
年若クハ第五學年ニ於テ五分ノ二以上ノ成績席次ヲ有シ左ノ各號
ノ一ニ該當スル者タルヲ要ス
但シ特ニ校長ノ推薦アルモノニ限り成績席次ヲ問ハザルコトアル
ベシ
一、中學校卒業者(昭和九年三月卒業見込者ヲ含ム)
二、專門學校入學者檢定規定ニ依ル試驗檢定合格者

三、一般專門學校ノ入學ニ關シ指定ヲ受ケタル者
例、甲種實業學校(商業、農業、工業等)卒業者等
願書受付期日(自十二月一日
至十二月廿日)
學科試驗
國語(代數、平面幾何)
英語(英文和譯、和文英譯)
但商業學校卒業者ハ數學ヲ省キ簿記(商業簿記、銀行簿記
ヲ科ス)
卒業者特典(略)
横濱專門學校獎學會
横濱市神奈川區六角橋
電話本局二七〇四番

懸賞文藝作品大募集

一、小説と戯曲
イ、二百字詰原稿紙二十枚乃至
三十枚
ロ、内容制限ナシ
ハ、楷書ニテ認メ漢字ニハ假名
ヲ振ルコト
ニ、雅號、匿名可

懸賞
一等 金貳拾圓 各一名
二等 金拾五圓 各一名
三等 金五圓 各二名

二、新詩
イ、隨意題詠
ロ、每題用紙別ニスルコト
ハ、雅號、匿名可

懸賞
一等 各一名
二等 各一名
三等 各三名

懸賞
正富洋先生
イ、春季雜詠
ロ、五句吐
ハ、用紙ハ官製ハガキ、縦書
ニ、雅號、匿名可

懸賞
粗景(萬年筆、シヤペン類)呈上
其ノ他(類)呈上

懸賞
粗景(萬年筆、シヤペン類)呈上
其ノ他(類)呈上

懸賞
粗景(萬年筆、シヤペン類)呈上
其ノ他(類)呈上

懸賞
粗景(萬年筆、シヤペン類)呈上
其ノ他(類)呈上

懸賞
粗景(萬年筆、シヤペン類)呈上
其ノ他(類)呈上

出したのは縣令宛であり、これが併合されたのが修文館(洋學
校)であり、後年これが神奈川縣師範學校に轉身したといふこ
とから推せば、寧ろ縣に移管された経路が濃厚である。されど
洋學校は前年民費に移されたことあり、此際三井其他より建築
入費の内へ差加金をした事實もあり、更に市學校と稱したこと
から見れば其實際には、公私共同の經營であつた様に考へられ
るのである。暫らく疑ひを存して後の研究に俟たいと思ふ。
高島嘉右衛門小傳 嘉右衛門は江戸三十間堀の生れである。
開港後間もなく我横濱に來り、材木商店を開き、兼て建築請
負業等を営み、よく巨萬の富を累ねた。彼等は是れより志を
公益事業に傾け、明治三年には神奈川・横濱間海面の埋立大
工事を遂げて高島町を開き、鐵道敷地及び國道用地を政府に
献納して京濱間鐵道の創業に盡した。市學校を建設したのは
其翌年である。次で登壇と名づくる小學校を設立し、又六
諭行義を翻刻して縣下の諸學校に寄附し、更に横濱函館間に
定期航海を開き、又瓦斯事業を起したなど、社會に貢獻した
ことが頗る多かつた。また明治九年事業界を退き、神奈川高
島山に閑居し、専ら易斷に親しみ、晩年從五位勳四等に叙せ
られた。

太田の文學所

明治三年四月神奈川縣裁判所の吏員の子に、漢學を教授する
目的を以て、太田の陣屋舊跡兵衛の樓上に、文學所が開設され
た。其年九月元辨天武術講習所に移轉し、英國人キンギを聘し
て、英語の教授を開始し、翌四年再び元辨天舊英佛語學所(舊
佛蘭西語學傳習所)に移し、専ら漢學及び習字を教授するこ
ととした。其廢止の月未詳。

普通教育の曙光

維新の大精神に基く新教育は、明治二年二月五日に發布され
た府縣施政順序の中からその曙光を放つた。既ち其中に左の一
箇條が掲げられたのである。
一、小學校ヲ設クル事。
専ら書學素讀算術ヲ學ハシメ、願書・書翰・記帳算勘等
其用ヲ闡サシムヘシ。又時々講談ヲ以テ國體時勢ヲ辨
ヘ、忠孝ノ道ヲ知ルヘキ樣教諭シ風俗ヲ敦クスルヲ要ス
最才氣業ニ秀テ、學業進達ノ者ハ其志ヲ遂ケシムヘシ。
次いで三月二十三日左の布告を發して小學校の設立を促された
序序ノ教不レ備候テハ政教難レ被レ行候ニ付、今般諸道府縣
ニ於テ小學校被レ設、人民教育ノ道洽ク御施行被レ爲レ在度
思召ニ候間、東北府縣連ニ學校ヲ設ケ、御趣意貫徹候様盡
力可レ致旨被レ仰出候事

此布告は特に東北地方に下されたものではあるが、これにより
て中央政府が地方の學事の興立をはかつた一斑を察することが
出来るのである。翌三年二月大學(文部省の前身)は左記小學
校規則を定めた。
子弟凡ツ八歳ニシテ小學ニ入、普通學ヲ修メ、兼テ大學專
門五科(教科・法科・理科・醫科・文科)ノ大意ヲ知ル。
句讀・習字・算術・語學・地理學・五科大意。
子弟凡ツ十五歳ニシテ小學ノ事訖リ、中學ニ入ル。
併し此規則は學則伺出の向に便宜宜し取ることを許したに止ま
り、頒布には至らなかつたのである。

本縣 縣學校

明治四年八月本縣は學事獎勵の趣旨に従ひ、縣學校規則を設
け、縣下二十七箇所に其設置方を論議した。
方今人材養育急務之秋、改而村々鄉學校取立候様盡力可
レ致事。
一、別紙之通貳拾七ヶ所の鄉學校は、其組合村中最寄寺院
又は明家等見立取設方いたし置、早々可ニ申出ニ事。
附リ、師匠之儀は御差圖可レ有之候得共、當分組
合衆評議之上、相應の人物を撰み置、其旨可ニ申立
一候事。
附リ、學校世話方の儀、組合惣代並諸村之儀は、其
村役人之者引調、精々世話可レ致事。
但し、學校に志し有之輩、努力周施可レ致儀は勿
論之事に候。
附リ、一組合之内、壹ヶ所の學校にては、端々不便
之場所児童之通學六ヶ敷地方、一村限り別其最寄に
取設之儀勝手次第なり。尤組合中鄉黨議定に洩れ、
組合學校之入費割合を巡れ、區々之儀無之様取設
可レ致候事。
右之通相定置、猶而一郡中大學校を設、組合鄉學校より學
士を撰び、右郡學校に集め、上等の教師を差遣し、引調も可
レ有之候間、兼て相心得丹精せしむべき事。
辛未八月
神奈川縣管轄武相州鄉學校
貳拾七ヶ所
武相久良岐郡横濱町、外戸部・吉田町・中村・北方村・根岸・
本牧村・太田村・町屋村組合十ヶ村。
同州橋樹郡保土ヶ谷宿、外六拾七ヶ村組合。
同州同郡神奈川宿、外青木町・西子安・東子安・新宿村・生麥
村・鶴見村。
同州同郡川崎宿、外拾四ヶ村組合。
同州同郡小杉村、外貳拾九ヶ村組合。
同州同郡網島村、外四拾六ヶ村組合。
同州同郡溝口村、外四拾九ヶ村組合。
同州多摩郡小野路村、外三拾四ヶ村組合。
同州同郡小佛、駒木兩宿、外十二ヶ村組合。
同州同郡木曾村、外十四ヶ村組合。
同州同郡日野宿、外三十六ヶ村組合。
同州同郡八王子宿、外三十二ヶ村組合。
同州鎌倉郡戸塚宿、外五拾六ヶ村組合。
同州高座郡鎌倉郡、藤澤宿、外五拾一ヶ村組合。
同州鎌倉郡雪ノ下村、外拾一ヶ村組合。
同州大住郡厚木町、外四拾七ヶ村組合。
同州同郡伊勢原村、外二拾四ヶ村組合。
同州同郡曾根村、外二拾四ヶ村組合。
同州津久井郡中野村、外十ヶ村組合。
同州同郡日連村、外九ヶ村組合。
同州高座郡磯部村、外九ヶ村組合。
同州同郡深谷村、外二十五ヶ村組合。
同州同郡一ノ宮村、外二十七ヶ村組合。
同州三浦郡堀ノ内村、外三十三ヶ村組合。
同州同郡秋谷村、外三十二ヶ村組合。
同州同郡浦賀村、外十二ヶ村組合。
以上
二拾七ヶ所。
別紙之通今般及二觸達ニ候條、市在宿村々不レ洩様寫取、小前
末々迄可ニ申出ニ候。此觸書令ニ請印一早々願留可ニ相
返一もの也
辛未八月九日
神奈川縣